

看護学同窓会便り No. 20

令和6年11月23日発行
連絡先
電話・FAX 095-819-7946
同窓会事務局 中尾

会長あいさつ

会長 浦田 秀子

会員の皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年1月1日に発生した令和6年能登半島地震は、私たちに大きな衝撃が走りました。被災地が復旧・復興へと少しずつ進んでいる中、9月21日、記録的な大雨が襲い、またしても大きな災害に見舞われました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

長崎大学は原子爆弾の被害を受けた世界で唯一の大学です。多くの貴重な人材を一瞬のうちに失いました。来年8月には、原爆復興80年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、「長崎大学医学部原爆復興80周年記念事業実行委員会」が組織され、同窓会長として参画いたします。主な事業は、記念講演会、被災写真や資料の展示、「追憶」の英訳などが計画されています。詳細等決定次第ホームページでご案内したいと考えております。

この「同窓会便り」も20号を発刊することができました。「会員同士の暖かく、深い交流の手段」として第1号をお届けできたときのことを感慨深く思い出します。会員の皆様にはご寄稿をお願いするなどいつもご協力をいただき、継続できていることを感謝申し上げます。今後も内容の充実を目指し、母校の発展を祈念し、同窓会の「継承と発展」に努めてまいりたいと思います。

会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

同窓会員数

総数	4,242名
養成所	220名
厚生女学部	117名
看護学校	1,260名
医療短大	1,200名
保健学科	1,417名
(医療短大の卒業生7名を除く)	
修士課程	25名
(看護学校、医療短大、保健学科の卒業生31名を除く)	
準会員	3名

2024年9月2日現在

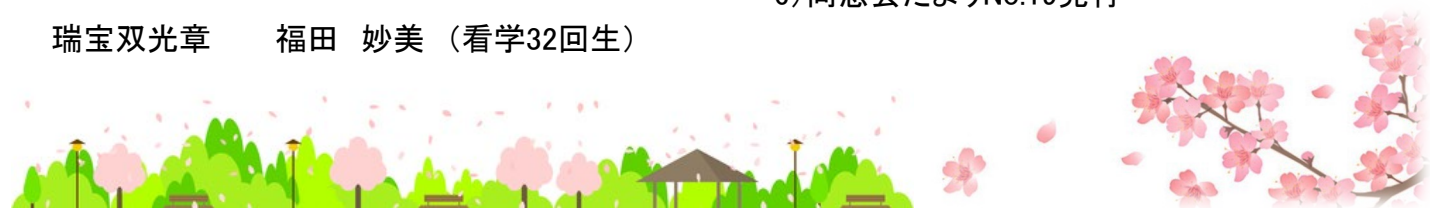
表彰を受けられた会員

瑞宝双光章 福田 妙美（看護32回生）

庶務報告

令和5年度庶務報告

- 令和4年度入会者 66名
令和5年度入会者 67名
- 経過報告
 - 同窓会総会 令和5年11月23日
看護学同窓会120周年記念との合同開催
 - 理事会開催 3回
 - 慶弔
 - ・原爆慰霊祭に浦田会長献花、生花寄贈
 - ・保健学科卒業式に生花スタンド
 - 「新型コロナウイルスと共存する看護学教育」への寄付協力
 - 看護学研究奨励賞運営
 - 同窓会だよりNo.19発行



■ 120周年記念事業のご報告

同窓会便り第19号でご報告させていただいたように、記念講演会の開催と2002年以降からの活動内容を整理しました。

1. 記念講演会

同窓会総会に引き続き開催いたしました。講師は国境なき医師団元日本会長の黒崎伸子先生、テーマは「生命の危機と医療・人道支援―国境なき医師団の活動―」です。会員以外の方にもご案内し、会員含め約60名の参加者がありました。国際紛争地での活動、特に対象者への関わりを直にお聞きし、さらに質疑応答で講師の貴重な体験から医療・人道援助について考える機会となりました。

2. 2002年からの看護学教育、同窓会のあゆみ(年表作成)

項目をあらたに①長崎大学看護教育事項、②長崎大学病院、③看護を取り巻く情勢、④社会情勢としました。詳細はホームページをご参照下さい。

3. 看護学研究奨励賞20年の助成内容

2005年から2023年まで38件の研究助成を行いました。申請者とテーマはホームページをご参照下さい。

4. 写真でつづる20年

同窓生に係る写真から学業や当時の生活状況を知ることができました。



卒業式の様子



120周年記念講演会: 黒崎伸子先生

新しく入会された方からのメッセージ

- 1: 働いていてうれしかったことを教えてください
- 2: 看護師になって、前向きに頑張っていることは何ですか
- 3: 最後にひとことお願いします

長崎大学病院 宇土星菜さん

- 1: 患者さんに「あなたが担当でよかったです。これからも頑張ってください。」と言っていたき、笑顔で退院されたことです。
- 2: 脳に関する勉強をすることです。新しい部署となり、新たな疾患や治療など知らないことだらけですが、時間をつくりながら毎日少しずつ勉強しています。勉強したことを活かしたときはとても嬉しいです！早く先輩方のように自立した看護師になりたいです！
- 3: バタバタな毎日で大変なことやつらいことも多いですが、患者さんに関わる楽しさや新しくできるようになることへの喜びを感じながら日々頑張っています！これからも勉強を続けながら、友達や同期とご飯や旅行に行つて、息抜きをしながら頑張りたいです！

長崎みなとメディカルセンター 山口京さん

- 1: 先輩から仕事を任せて貰えるようになったときです。就職した4月の頃は私が実施した内容を先輩に確認してもらって、、、というのが基本でしたが、先輩から「これ任せていい？」と言ってもらえたときには自信がついて嬉しかったです。
- 2: 人生はプライベートも大切と思い始めたので、やりたいことを認識してやっていけるように頑張っています。社会人になると会いたい人にあと何回会えるんだろうと思うことも増えました。なるべく会えるようにしたいです。
- 3: 仮に試験に落ちて、仕事で失敗しても、色々苦しくても人生はなるようになると思分に言い聞かせています！気負わずにがんばりたいと思います。

寄稿「看護学同窓会 誇りと縁思う」

看学22回生の田添京子さんより寄稿していただきました。田添さんは同窓会理事を長年務められ、同窓会の歴史を間近で見続けてきていただきました。毎年総会、懇親会に参加するたびに胸に抱く思いを昨年長崎新聞に投稿し、掲載されています。

看護学同窓会 誇りと縁思う

コロナ禍を経て、長崎大の看護学同窓会が4年ぶりに通常通りの形で長崎市内で開催された。私の母校「長崎大学医学部附属看護学校」はこれまでに、医療技術短期大学部、医学部保健学科と変革を遂げてきた。原爆の惨禍においても途切れることなく看護教育の灯を燃やし続け、今年で120周年。総会には20代の若者から80代の大先輩まで集う。

本会は2002(平成14)年に看護教育100周年を記念し、会員の寄付で「長崎看護学同窓会研究奨励賞」を発足させた。会員、準会員を対象に看護研究者の育成と看護学の向上・発展に寄与することを目的として研究費の一部を助成する事業だ。応募論文から選ばれた研究者が今年も表彰され、夢や抱負を堂々と述べた。こんな同窓会は滅多にないだろうと、同窓会の発展的な底力を誇りに思う。懇親会では大先輩方と会食を楽しみ、久々の近況報告に花が咲いた。昔は怖かった先輩とも今では意気投合。一人暮らしや体調の変化への不安の声を聞き、共に老境の暮らしを考える。同窓会開催は、母校を原点とした私の人生、そして授かったご縁に心から感謝する日である。

令和5年12月8日 長崎新聞「声」掲載

日本画をご寄贈いただきました

看学5回生の江頭タエ子さんからあじさいの絵(日本画)を寄贈していただきました。江頭さんは今回の寄贈にあたり、約60年前に描いた絵に新たに手を加えてくださったそうです。そこで、保健学科3階の看護共同研究室に展示した絵を見ながら江頭さんと学生、教員とで歓談しました。昭和30年当時の看護の働き方や絵を描かれた思いなどをお聞きして現在との違いに驚いたり感心したりしました。以下に、江頭さんのお便りを一部抜粋してご紹介します。

「私は昭和27年に長崎大学看護学校に入学して昭和30年に卒業いたしました。入学当時は「30年は草も生えん」と言われて、鉄きんの病棟が何棟も放置されていました。昭和33年に看護婦宿舎に向かう土手に、被爆後13年にして大きな花を咲かせたあじさいを見つけました。一株で枝も二～三本、葉も小さいのがまばらでした。私は嬉しくて毎日スケッチしました。日本画家の甲斐先生のご指導をうけて長崎県展に出展できて賞を賜りました。このあじさいは他に残されているだろうかと思い寄付させていただきたいと存じます。」

江頭さんが描かれたあじさいは、凜としていて荒れ地に咲いた花を想像でき、教室で勉強する学生たちを温かく見守ってくれているようです。



原爆投下後13年に大学病院の庭に咲く



江頭タエ子さんと同窓生(2024年9月24日撮影)

物故者のお知らせ

お知らせいただいた方を掲載しております。

山口 シズ	(旧姓 竹下)	養成所7期生	不明
二宮 トシ		養成所16期生	令和3年
重松 智津子	(旧姓 高出)	養成所19期生	令和5年10月1日
岩永 チエ	(旧姓 今里)	養成所20期生	平成19年5月20日
森川 和子	(旧姓 松尾)	厚女普2期生	令和5年10月6日
服部 泰子	(旧姓 飯島)	厚女普1期生	令和元年6月16日
平井 實	(旧姓 山下)	看学4回生	令和5年7月
植田 栄子	(旧姓 谷口)	看学5回生	令和5年7月14日
内矢 洋子	(旧姓 野中)	看学5回生	令和5年8月11日
宮田 カイ子	(旧姓 水本)	看学8回生	令和4年8月
竹田 茂子	(旧姓 荻島)	看学8回生	令和6年7月31日
沖島 政子	(旧姓 岩永)	看学12回生	令和4年3月25日
山田 成子		看学22回生	令和3年12月17日
小野 清子	(旧姓 岩永)	看学27回生	令和6年
中村 千鶴子	(旧姓 福島)	看学30回生	令和6年5月10日



令和6年度看護学研究奨励賞活動報告

1. 本年度応募の研究課題

「手術部看護師を対象とした針刺し・切創事故後の報告に至るまでの体験について」

神代 竜育(長崎大学大学院医歯薬総合研究科保健学専攻看護実践科学分野修士論文コース)

2. 令和6年度同窓会総会後に研究発表を行います。

令和4年度受賞「看護学生と歯科衛生学生の口腔環境とセルフケア習慣の実態」

浜崎 美和(長崎大学生命医科学域保健学系)

☆次年度も以下の日程で募集します。ご応募をお待ちしております。

募集期間: 令和7年6月20日～7月20日

詳細については下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 森藤香奈子

長崎大学医学部保健学科(森藤研究室)

TEL/FAX 095-819-7981

e-Mail: kanako-m@nagasaki-u.ac.jp

※できるだけメールでのお問い合わせにご協力ください。

令和6年度看護学同窓会理事名簿

役職・氏名	卒業回
名誉会長 加藤 奈智子	看学2
会長 浦田 秀子	看学21
副会長 萩原 絹子 勝野 久美子 (看護学研究奨励賞担当)	看学28 看学27
書記 小渕 美樹子 中尾 理恵子	看学36 医短3
会計 鳥越 絹代 齊藤 美保	医短1 医短2
監査 田添 京子 伊東 由美子	看学22 看学28
学外理事 荒木 宣代 下田 澄江 久松 千鶴香 鈴木 尚子 福田 昌恵 堀川 新二 鈴木 由布子	看学10 看学20 看学26 看学30 看学34 医短15 保健6
学内理事 中村 千代美 後田 実知子 片山 哲也 森藤 香奈子 (看護学研究奨励賞担当) 張川 恭子 大山 祐介 森下 暁 海部 佳純	看学36 医短2 医短8 医短10 医短10 医短15 保健2 保健6

ホームページのご案内

長崎看護学同窓会のホームページで皆さまへのお知らせやご報告、ニュースレターなどの情報発信を行っております。同窓会へのご連絡やお問い合わせにもご活用ください。

URL: <https://www.nagasaki-kango.org>

おねがい お近くに同窓会便りが届いていない同窓生がおられましたら、事務局への連絡をお伝え下さい。また、住所等に変更がある際もご連絡をお願いいたします。



編集後記: 発展していく看護において、人と人のつながりは普遍であることを感じました。看護の本質を大切に、これからも受け継いでいきたいと思ひます。(保健2・森下暁)